

11月18日 第21回ジュピロ磐田メモリアルマラソン スポーツの力で磐田を笑顔に！

今年で21回目を迎えるジュピロ磐田メモリアルマラソンは「笑顔で磐田をうめつくせ！」を合言葉に、市内外から約1万人のランナーが出場し、秋の磐田を駆け抜けました。また約3,500人のボランティアがランナーをサポートしました。沿道からも多くの市民が声援を送りました。

ジュピロ磐田の選手らも参加して、沿道でハイタッチを交わしたり、一緒に走ったりして、ランナーたちを後押ししました。



ゴール目指してスタートしたランナー



沿道からランナーに声援を送る園児たち



ハイタッチでランナーを応援



仮装でみんなを笑顔に！

11月7日・8日・12日 豊岡・敷地の柿の収穫体験 おいしそうな柿、み～つけた♪



▲自分で収穫した柿なのでおいしさもひとしおです

敷地柿組合の協力で、豊岡南幼稚園の園児たちが地元の特産品である柿の収穫体験を行いました。

地域で柿農園を営んでいる伊藤一吉さんらには、はさみの持ち方などを教えてもらった後、園児たちは自分で柿を選び、伊藤さんや先生と一緒に柿を収穫しました。

園児たちは「どでかくておいしそうな柿を取れて楽しかったです」と感想を話しました。

11月4日 福田漁港アクセス道路 開通式 漁港周辺の交通環境が向上



▲くす玉開披やテープカットで開通を祝いました

福田漁港アクセス道路の開通式が、関係者や地元住民の出席のもと行われました。福田漁港アクセス道路は、延長420メートル、幅員7.5メートルの2車線道路。漁港周辺へのアクセス向上とともに、災害時の避難路や輸送路としての役割が期待されます。

高田副市長は「アクセス道路の完成が今後の福田漁港周辺のにぎわいにつながることを願っています」とあいさつしました。

写真が動く！
AR動画

ARのマークが付いた写真を専用のアプリを利用して撮影すると、あたかも紙面の写真が動いているかのように動画が再生されます。専用アプリ「ARラボ」は右記2次元バーコードからダウンロードできます。
※アプリのダウンロードや使用にかかる通信料は、利用者負担となります



【ios用】



【android用】

11月19日 幼・保・こども園児と小学1年生との交流会 お兄さんお姉さんと一緒に遊びました



▲小学校の様子や楽しさを知ることによって園児たちに憧れが芽生えます

竜洋地区の幼稚園、保育園、こども園の年長児たちと小学1年生が交流会を行いました。

竜洋西小学校では、小学1年生が生活科の授業の一環で、秋をテーマにしたお店屋さんを開き、竜洋幼稚園と竜洋西保育園の園児たちを招待しました。

小学1年生と園児がペアになり、どんぐりやまつぼっくりを使った手作りのおもちゃ屋さんや紙や木の枝を使ったレストランなどを楽しみました。

11月11日 しっぺい4コマまんが書籍化&出版記念イベント 3年間の4コマがぎゅっと一冊に



▲ネタ作りや没ネタなど制作者ならではの話が聞けました

2015年から広報いわたで連載がスタートしたしっぺい4コマまんが「きょうも♪たのしっぺい」を総集した単行本の出版を記念して、11月11日にららぽーと磐田で、出版記念イベントが開催されました。会場では先着500人の方に単行本がプレゼントされ、作者で磐田市出身の脚本家池野みのりさんとイラストレーター長門沙織さんのトークショーなどが行われました。

11月24日 やぎの命名（メエメエ）式 「きなこ」と「あんこ」に決まりました



▲思わずにっこり、ほっこりする名前になりました

ひと・ほんの庭 にこつとに、ヤギ2頭が新たに加わりました。名前を募集したところ725件の応募があり、命名（メエメエ）式で2頭の名前が披露されました。名前は「きなこ（毛色：茶）」と「あんこ（毛色：黒）」に決まりました。命名者の一人の石川のぞみさん（豊田北部小2年）は、「名前を聞いてどちらのヤギか、色ですぐわかってと思ってこの名前にしました」と名前の由来を話しました。

11月23日 ヤング草莽塾 企画提案発表会 磐田っていいなと思えるまちづくり



▲最優秀賞を受賞した「磐南A」の皆さん

高校生が柔軟な発想や創意工夫で磐田市の抱える課題の解決や将来のまちづくりに取り組むヤング草莽塾。6月に開講してから、高校生たちが調査研究してきた成果を広く発表する機会として、企画提案発表会が行われました。

市内5校9グループのうち、しっぺいを活用した市の魅力発信のアイデアなどを提案した磐田南高校の「磐南A」が見事最優秀賞を受賞しました。